

今日のキーワード 『ヒット商品番付』には“ウチ”関連がランクイン

「ヒット商品」に関するランキングは、その時々流行や経済情勢を映す指標として注目され、複数の企業や団体が発表しています。例えば、日本経済新聞社は日経MJ『ヒット商品番付』として、消費動向や世相を踏まえて、売れ行きや開発の着眼点、産業構造や消費者心理に与えた影響などを総合的に判断し、相撲の番付になぞらえたランキングを発表しています。

ポイント1

“ウチ”の消費に関するものが多くランクイン！

横綱は東に「アマゾン・エフェクト」、西に「任天堂ゲーム機」が選ばれた

- 日経MJの2017年『ヒット商品番付』では、ウチ（家、内）の消費に関するものが多くランクインしました。例えば、東の横綱の「アマゾン・エフェクト」は、ネット通販大手の米アマゾンが生鮮宅配等の領域を拡大したり、衣料品販売や音楽・動画配信でも存在感を示したことで、日本の消費に影響を与えたとして選ばれました。
- 西の横綱には「任天堂ゲーム機」、同大関には「AIスピーカー」と家の中で使用する製品がランクインしました。「任天堂ゲーム機」は据え置き型の最新機種「ニンテンドースイッチ」などの販売がとて好調です。また、「AIスピーカー」は人工知能（AI）との対話を楽しむことができるもので、今年日本ではグーグルやアマゾン、LINEなどから続々と発売されました。

ポイント2

買物も食事も“ウチ”で楽しむ

いまひとつ奮わなかった「プレミアムフライデー」は残念賞

- 今年、東京・銀座に新たにオープンした「GINZA SIX」が実店舗で東の関脇となった一方、西の関脇にはネット通販の「ゾゾタウン」が選ばれました。また、出前代行サービスの「ウーバーイーツ」が西の前頭となり、“ウチ”で買い物や食事を楽しむものがランクインしています。
- 今年2月に導入され、毎月末金曜日に早帰りすることで消費喚起として注目された「プレミアムフライデー」は、いまひとつ奮わず残念賞となりました。



今後の展開

景気回復による賃金上昇から消費の活性化に繋がることに期待

- 2017年は、日経平均株価が約26年ぶりの水準に上昇したことから「株高」が西の前頭となりました。世界的な景気回復局面にあって、企業業績は好調です。政府は来年についても経済界に賃上げを要請しており、賃金の上昇が消費の活性化となり、来年も続々とヒット商品が生まれることに期待したいところです。

※個別の商品及び関連企業に言及していますが、これらを推奨するものではありません。

ここも チェック！

2017年12月5日 2018年の日本株式市場は堅調となる見通し
2017年11月2日 話し掛けたことある？今注目の『AIスピーカー』！

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。